









事變ト日本側

「ペルー」在留邦人恤兵金

在「リマ」市「里馬日報」及「秘露時報」兩社合同ニテ國防恤兵金ヲ募集シタ處、八月十五日迄ニ「リマ」市ヲ中心トシ各地ノ在留民ヨリ差當リ二萬六千六百七「ソール」二十二仙應募シ來ツタ。右邦貨換算額ハ二萬三千四百六十八圓三十三錢トナル。

事變ト支那側

(1) 支那側 煙草方面ヨリ軍需品ヲ入手 (米紙)

八月十七日、經營「タイムズ」ハ維納特電トシテ、

「國民政府財政部長孔祥熙ハ維納特電在中、「ヒルテンベルグ」ノ「メンデル」會社、及維納ト「ロート」會社ニ多量ノ武器ヲ、又「ゴルツ」會社ニ望遠鏡ヲ註文シタト報シ、且「ブラハ」特電トシテ、「孔部長カ「チエツコスロヴァキア」、「スコダ」關係會社等カラ、相當巨額ノ軍需品購入「クレヂット」ヲ獲得シタト、ノ報道ハ十七日確實トナツタトノ記事ヲ掲載シタ。

(2) 戒嚴令布告 (八月十四日國民政府令)

支那側ハ八月十四日附國民政府令ヲ以テ「茲ニ外侮緊迫セルヲ以テ京滬、滬杭甬甯鐵路沿線各市縣及寧波、鎮海等ノ地ニ同日ヨリ戒嚴ヲ宣告ス」トノ旨公布シタ。

支那の政治情勢  
八月十八日、北平市長公選結果  
八月十八日、青島の水兵射撃事件  
八月十八日、支那の政治情勢

(3) 北支情勢

イ、北平市長公選結果

八月十八日ノ常務會議ニ於テ北平市地方維持會ハ公選ノ結果、主席  
江朝宗ノ北平市長兼任ヲ決定シタ趣テアル。

ロ、青島ノ水兵射撃事件（在支英字紙）

青島ニ於ケル日本水兵射撃事件ニ關シ、青島「タイムス」ハ八月十  
八日左ノ通り論評シタ。

國際關係ノ緊迫セル際ハ、普通ノ犯罪モ重大政治事件ニ轉化シ易  
イ。十四日ノ事件ニ關シ、支那側ハ一切ノ事情ヲ知悉シ乍ラ明白  
ナル釋明ヲ發表セヌ爲、青島住民ノ蒙ル損失ハ多大テアル。支那  
警察カ久シク事件ノ真相ヲ突止メ得サルニ反シ、日本ハ出來得ル  
限り事件ノ真相ヲ「ステートメント」等テ發表シタ。市民ハ之ニ  
對シテ感謝スル。然シ犯罪要點ノ未詳ナルハ遺憾テアル。日本側

ノ證人二名ノ「ステートメント」丈ケテハ事件ヲ明確ニシ難ク、又共同調査ノ結果モ不明テアル。負傷者カ何人ニ依リ運ハレ、又傷害檢證ノ結果ヨリシテ、將又支那側ノ言フカ如キ日本人同志ノ撃テ台ヒナリヤ否ヤハ、彈丸ヲ化學的ニ檢査スレハ直ニ判明スル筈テアル。

#### (4) 支那紙虛報漸ク暴露

漢字紙ハ、上海戰況ニ關シ毎日支那軍大勝ヲ傳ヘテ居ルカ、英字紙ハ漸ク支那側ノ虛報ニ飽キ、八月二十日在香港「テレグラフ」夕刊終版ハ、「無根ノ勝報」ト題シテ、支那側ハ日本側戰線ヲ突破シテ埠頭ニ達シタ、ト公ニ發表シタカ、實地檢分ノ結果其ノ無根ナルコトカ證明サレタ、トノ二十日正午上海發「ユー。ピー」通信ヲ西一面ニ掲ケ、二十一日「ポスト」ハ、「虛報二回」ト題シ、廣東市ニ於テ十九及二十日ノ兩日、日本飛行機襲來ノ警報徒ニ市民ヲ驚カシタト報シタ。







二十日同地發ノ都合トナツタ。因ニ「フ」號テ歸朝ノ筈タツタ大毎  
主備女學生團ハ豫定ヲ早メ八月十七日發熱田丸ヲ香港經由歸朝ノ途  
ニ就イタ。

右ノ中、上海避難ノ米人三百三十七名、比島人十五名ヲ乗セタ第一  
同船「ジェファアソン」號ハ八月二十日「マニラ」着ノ豫定故救護  
委員ハ赤十字ト協力シ之カ收容ニ萬全ノ努力ヲ爲シツツアル。又「ハ  
ハイ。コミツシヨナー」ハ米國政府ニ對シ、避難民救護ニ十六萬「ヘ  
ソ」ノ支出方ヲ電請セル趣テアルカ、之テハ不足ノ惧アルニ付、「ケ  
ソ」大統領ト連名ヲ以テ義捐金輸出方ヲ一披ニ布告シタ。

第一回來着ノ内身奇ナキ者ハ「バギヨ」ニ收容スル計畫ナルカ「ジ  
エツファアソン」、「マツキンレー」、「フリーヴァー」三隻輸送ノ  
避難民ハ約千四百ニ達スヘク其ノ他社外船ニテ來比スル者モアル由  
ニテ避難民中ノ學童兒童八百名ノ就學ニ關シテモ夫々手記中ナリ  
斯ク遽ニ多數避難民ノ來比、上海トノ貿易社絶、船腹ノ拂底等ノ爲  
家賃及輸入食料品ノ相場ハ既ニ相當ノ騰貴ヲ示シ當地モ漸ク上海事  
變ノ直接影響ヲ蒙ルニ至リタリ

八月十六日、ルイズ議員ハ上院ニ於テ、更ニ在支米國軍隊撤退ノ必要ヲ論シタ際、倫敦ヨリ米國政府ニ達シタ情報ニ依レハ、英國ハ支那ニ關シ英米共同政策ヲ執ルヘク、又英國ハ日本ニ對シ經濟上ノ壓迫ヲ加フルコトヲ考慮シツツアル處、右ハ米國トノ共同戰線樹立ヲ俟テ實行セラルヘントノコトナル旨、並ニ他國トノ共同政策遂行ノ爲、乃至日支間紛争ニ捲込マレル爲、支那ニ米國軍隊ヲ駐屯セシムルコトハ不可解ナル旨ヲ述ヘタ。

(3) 在支米軍撤退論 (米國議會) (續)

八月十六日、「ルイズ」議員ハ上院ニ於テ、更ニ在支米國軍隊撤退ノ必要ヲ論シタ際、倫敦ヨリ米國政府ニ達シタ情報ニ依レハ、英國ハ支那ニ關シ英米共同政策ヲ執ルヘク、又英國ハ日本ニ對シ經濟上ノ壓迫ヲ加フルコトヲ考慮シツツアル處、右ハ米國トノ共同戰線樹立ヲ俟テ實行セラルヘントノコトナル旨、並ニ他國トノ共同政策遂行ノ爲、乃至日支間紛争ニ捲込マレル爲、支那ニ米國軍隊ヲ駐屯セシムルコトハ不可解ナル旨ヲ述ヘタ。

(C) 蘇聯

蘇聯ノ對支援助 (佛紙)

△「レプユブリック」(八月十八日)、「ジエラル」|「蘇支關係」  
蘇聯ハ日支紛争ニ不關心テハ居ラレナイカ、國內的困難ノ爲、對日強硬態度ハ取り得ナイ。但シ吾人ノ有スル情報ニ依レハ、蘇聯

ノ現在支那援助ニ資スル手段ハ(イ)共產主義宣傳員送付(ロ)専門技師派遣(ハ)武器供給ノ三ツトシ、而シテ最も最重要ナルハ武器ノ供給テ、右ハ通商條約締結交渉ノ下ニ折衝サレタルモノテアルカ、其ノ内容ハ、來ル十二月一日迄ニ、蘇聯ハ飛行機三六二臺、戰車二〇〇臺、大砲四五〇門、重機關銃一五〇〇挺、其ノ他小銃及彈丸、自動車及馬匹等多數ヲ供シ、之ニ對シ支那ハ全額ノ半分ニ相當スル金ヲ蘇聯國立銀行ニ預託スルト共ニ、支那ト「シベリヤ」鐵道トヲ聯絡スル鐵道敷設ヲ始メトシ、北支ニ於ケル多大ノ利權ヲ提供スルニアル。上海ニ於ケル支那ノ唐突意外ノ抵抗、及空軍ノ活動ハ右ヲ如實ニ證明スル。

各國新聞論調

(1) 米國紙

△紐育「ヘラルド・トリビューン」(八月十五日) (双方止メ  
テ欲シイ)

上海通信ニ依レハ、外國租界爆撃ハ、支那軍用機ノ照準ノ誤リト  
モ言ヘハ、日本側ノ追撃ヲ避ケル爲便宜爆撃ヲ投下シタトモ言フ  
果シテ然ラハ支那ノ言分ニ對スル世界ノ同情ハ復サレル。照準ノ  
誤リトシテハ餘リニ非道イシ、逃ケル爲ナラ、カカル無責任ナ子  
供ニハ危險ナ外國製玩具ハ渡セナイ。

共同租界ヲ安全ニシタクハ日本ノ軍隊、軍艦ヲ退出セ、ト言フ支  
那側ノ言分ハ更ニ我々ノ同情ニ値セヌ。共同租界當局者トシテハ  
兩者ノ中立地帯侵犯ニ對シ謝ヲ課スルニ足ル兵力ヲ擁セサルカ故  
ニ、双方ノ帝威乃至儀禮ニ訴ヘル外方法ナク、又日支双方共斯カ  
ル提訴ニ對シ、尊敬ト同情ニ値スル様ナ答ハシテ居ナイ。日本側

モ祖界ニ軍隊ヲ置イテ支那側ニ爆撃ノ理由ヲ與ヘテ居ル。双方共  
斯様ナ事ハ中止シテ欲シイ。

△紐育「ヘラルド・トリビューン」(八月二十一日)  
(「オーガスタ」號事件)

八月二十日ノ「オーガスタ」號事件ニ對スル「ルーズヴェルト」  
大統領ノ態度ハ正シイ。蓋シ斯カル場合、日支双方ニ公式抗議ヲ  
スル以外ニ中立的第三者トシテハ行リ様カナイ。今度ノ場合ハ直  
戦ノ布告ヲ見タ戦争テハナク、且充分ノ理由ナクシテ非戦闘員ノ  
生命ト財産ヲ損フ衝突テアルトハ言ヘ、戦術上ノ考慮カ傍觀者ノ  
安全ニ先行スルノハ止ムヲ得ヌ。從ツテ危険ヲ知り乍ラ傍觀者タ  
ルコトヲ瀆ケルノハ、自己ノ危険ニ於テスルヨリ外ナイ。然シ日  
支兩軍トモ、戦術上何等必要モナイノニ非戦闘員ニ殺傷語ヲ加フ  
ルノ風アルハ非難スヘキ行爲テアル。

△紐育「タイムズ」(八月十九日) (「我カ東亞政策」)

米國政府ハ差當リ中立法ヲ發動サセヌ意向ヲ明カニシタ。此ノ要  
眞深イ政策ハ眞實ニ値スル。日支兩國ハ未タ正式ニ外交關係ヲ斷

Handwritten notes in Japanese, including the date '八月二十一日' (August 21st) and various lines of text.

絶セス、從ツテ衝突ノ永續防止モ敢テ絶望テハナイ。

今回ノ日支紛争ニ付、第三者タル米國力戦争状態ノ存在ヲ宣言シ  
兩國政府ヲシテ和平解決ノ一機ノ機會ヲモ失ハセルハ不可ナルノ  
ミナラス、極東在留米人ノ地位ヲ悪化スルタケタ。米國力今次事  
變ニ捲込マレル危險ハ、日支兩國ト通商、貿易、金融關係ヲ保テ  
ルコトニ胚胎スルモノテハナク、危險區域ニアル米人ノ生命財産  
ニ對スル脅威コソ右ノ危險ヲ孕ムモノテアル。現在中立法ヲ發動  
スルハ米國ノ利益上ヨリモ將タ極東平和上カラモ適當テナイ。

△社説「タイムス」(八月二十一日) (「擴大シ行ク戦線」)

衝突ノ擴大ニツレ妥協的解決ハ漸次困難ヲ加ヘテ行ク様々。在北  
支支那軍ノ行動、日本政府ノ英國提案拒絶等ノ報道ハ日支双方ノ  
硬化ヲ示ス。廿日ノ「オーガスタ」號事件ハ、「ルーズヴェルト」  
大統領ノ言ノ如ク豫期サレテ居タコトテ、此先モ米國人全部力退  
去スル迄ハ、米國軍艦ハ危險地帯ニ止マラネハナラス、同様ノ事  
件ハ、再ヒ發スルカモ知レヌ。



八月廿日北支方面ニ支那軍ノ攻勢カ傳ヘラレタ。之ハ割引ヲ要スル確實ナ反對ノ報道ナキ限り、北支ニ於ケル日本軍ノ計畫ハ着々進歩中ト見ネハナラス。併シ同方面支那軍ノ頑強ナ抵抗ハ、蔣介石カ抗日派ニ影響下ニ在ルヲ立證スル。日本ノ態度ハ今ヤ非妥協的ニナツテ居リ、「ロンドン。タイムズ」ノ如キモ二十一日ノ社説テ、上海ニ於ケル日本軍ノ攻撃ハ世界輿論ニ於テ日本カラ同情以上ノモノヲ導フモノト警告シテタ。此ノ社説ハ東京ノ政治下ニハ何物カラ教ヘヨウカ、今日ノ日本ハ一九三一年ノ滿洲事變當時ト同様、斯カル忠告ニハ耳ヲ傾ケマイ。

△桑港「エグザミナー」(八月十九日)「支那戦争ノ圈外ニ立テ」  
現地ニ於ケル米國軍部及外交代表ニ訓令シ、交戦國ト事ヲ構フル  
如キ行動ヲ謹マシメヨ。交戦地帯内ニ米國軍隊ノ存在スルハ最危  
險テアル。米國政府カ現地ニ於ケル米國市民、並ニ條約上ノ權益  
ヲ保護セントスルハ素ヨリ適切ナルモ、米國國民ノ最希望スル所  
ハ、米國ヲ絶對ニ戦争ニ捲キ込マセヌコトヲ、之カ爲ニハ米國及  
交戦國ノ双方ノ間ニ戦争ヲ誘發スルカ如キ事件ハ、其ノ故意タル  
ト偶發的タルヲ問ハス、極力之ヲ防止セネハナラヌ。  
△備考。八月十九日米紙ハ、上海カ烈シキ戦鬪地區ト化シタコト、  
特ニ日本側カ「アメリカン・バプチスト・ミッション」ヲ爆撃  
シタルコト等ニ關スル上海發A・P電ヲ載セタ。

(2) 英國紙

△「デーリー・メール」ハ八月十日「ハーウガード・プレス」ニ日本ノ對支行動ノ原因ハ(一)支那ノ赤化防止及(二)經濟的必要ノ二點ニ歸スル。先ツ第一ノ支那ノ赤化防止ニ付テハ、蘇聯邦カ支那將領ヲ買收シ、現ニ西部支那赤軍カ其ノ資金ニ依存セル事實ニ注意スヘキテアル。滿洲國建設以前、滿洲ノ住民ハ罪賊ニ苦シタカ、今ヤ北支カラ數百萬ノ支那人カ其處ニ安住ノ地ヲ見出シテ居ル。今一ツノ原因ハ經濟的ナモノテ、土地瘦セテ而モ人口急増スル日本ハ、他ニ其ノ捌口ヲ求メル要アルモ、諸外國ハ日本ノ移民及商品ニ對シ固ク扉ヲ閉シテ居ル。從ツテ日本ノ對支進出ハ今後モ續クヘク、然ラスンハ日本ハ人口激増ノ重壓ニ倒レルノ他ハ無イ。

(3) 獨逸紙

八月十五日獨逸各新聞紙ハ、支那軍飛行隊ノ暴舉ニ依リ上海カ地獄化セルコトヲ詳報シ、「ターゲアラット」ハ同十四日東京發電報トシテ、南京政府ハ上海停戰協定ヲ破棄シ、今ヤ全市ニ亘リ戦争ノ危機迫ツタ、ト報シ、「フエルキツシャ」ベオバハター」ハ同十四日上海發D。N。B通信中ニ、今日迄ノ軍事行動ノ經過ハ、見ル者ニ對シ種々ナル謎ヲ投掛ケタカ、殊ニ日本軍飛行機カ八月十四日中何故出動シナカツタカハ不可解ノ謎ラアルトテ、支那側ノ挑戰的態度ト共ニ日本軍ノ隱忍自重ノ態度ヲ併セテ報シタ。

△「ドイツチエ。アルゲマイネ。ツアイツング」(八月十六日)「日本ハ何ヲ欲スルカ」主筆「カール。ジレツクス」博士)

上海ノ日支交戦ハ、從前ナラ當然戦争ト呼ハルヘキ軍事行動トナツタ。日本政府ハ南京其ノ他ノ空爆ヲ前ニ、抗日分子ノ徹底的掃滅ヲ聲明シタ。一九三二年ノ上海事件ヲ回顧スルニ、當時モ上海ニ於テ、支那側カ日本ノ大陸政策ヲ妨害スル限リ、不可避ノ抗日事件カ起リ、交戦ノ後停戰協定ノ締結トナツタカ、事實上其ノ後

抗日運動ハ増大シタ。支那國民ハ、此ノ際極東ヲ歐米依存ヨリ開放スル速大ナ政策ヲ願ミル暇モナク、又斯ル高遠ナ理想ハ日本ノ指導下ニ於テ始メテ實現シ得ルヲ認識スルノ力モナク、唯日本ノ翻權ヲ憎ハハ支那ノ讓歩ト早合點シテ居ル。支那國民最近數年間ノ體驗ハ、東亞最高ノ解放政策ニ共鳴スルヲ妨ケ、逆ニ支那一部ノ政治家ハ「モスクワ」ノ支援ヲ求メル方ニ動イタ。吾々ハ以上ノ事情ヲ知悉セネハナラヌ。

九國條約締約國モ、世界ノ現状ニ鑑ミ、東亞ニ干涉スル意思ハナイ。英米兩國モ傍觀者トシテノ立場ニ變リナク、其ノ活動ヲ支那在住自國民ノ保護ニ限定シテ居ル。從テ日支紛争ノ解決ハ兩國ニ委ネラレタ形テアル。日本政府ハ日滿支ノ提携ヲ目標トスルト聲明シテ居ルカ、今日迄、日本ハ他國ノ無力ヲ利用シツツ極東ニ於ケル地位ヲ着々築キ上ケタ。特ニ他國ノ無力時代カ終ラウトスル時、全力ヲ傾倒シテヨク成功シタ。滿洲國然リ、北支ノ親日政權樹立然リ、今又全市ニ抗日運動掃滅ヲ期シテ居ル。日支兩國ト友好關係ニアル獨逸ハ、日支ノ廣汎ナ世界的利害ヲ考慮ニ入レタ、

和解ノ途カ兩者ノ間ニ講セラレルコトヲ希望シテ止マヌ。

△「ドイツチエ。アルゲマイネ。ツアイツング」(八月十九日)「  
ボール。オスワルド」。「極東ノ解放」

日支紛争ハ日支兩國間テ解決スヘキ問題ト化シタ。從來異常ノ關心ヲ示シタ外國ハ、今日傍觀者ノ立場ニ退却シテ居ル。日本ハ其ノ躍進途上外國ノ干涉ニ苦シタコト一再テナイ。例ヘハ遼東半島還附、日露戰ノ賠償金拋棄、九國條約等テアル。併シ世界大戰ト聯盟ノ經驗ニ依リ列強ノ不相ト軋轢ヲ確信シタ日本ハ、夫レ以來極東政策遂行ノ爲ニハ外部ノ干涉ヲ斷乎排撃ノ態度ニ出テ居ル。斯テ滿洲事變ニ續ク一聯ノ事件カ起リ、列強モ靜觀的態度ヲ持スル外ナカツタ。九國條約モ列強ノ弱腰カラ略ホ有名無實ノ存在テアル。今日ノ事變ニ際シテモ、列強ハ極東ニ於ケル利益擁護ノ爲何處迄積極的ニ出ルカ疑問テアル。兎モ角大勢ハ、東亞ハ東亞人ニ一任スル方向ニ極ツタト見テ宜イ。

△「ゲルマニヤ」(八月十八日)、「カトリック」系)、「東亞ト列強」)

今次日支紛争ノ最初ヨリ、英米兩國ハ支那ニ格別援助スルノ意思ナシトノ印象ヲ受ケタカ、「ハル」國務長官ノ十四ヶ條平和聲明ノ如キモ、「スチムソン」宣言ニ比スレハ語調遙ニ穩和テ、日本ニ對スル好意的警告ニ過キス、英國モ米國外交ノ範圍外ニ踏ミ出ソウトハシテ居ナイ。日本ハ黑龍江事件テ蘇聯ノ氣構ヘテ試驗シタカ、英國モ對伊關係。西班牙問題テ手一杯テアル。滿洲事變、「エチオピア」紛争テ不手際ヲ示シタ英國ハ、今又支那ニ對シ道德的敗北ヲ招カヌヨウ畫策スルテアラウ。英國保守黨ノ一部ニハ印度ニ延ヒル蘇聯ノ勢力ヲ牽制スル爲日本ト組マントノ意見カアリ、英米兩國ニハ日本ノ土地、原料、資源難ニ對スル安全辨トシテ東亞大陸ヲ満足ヲ與ヘ、危險カ印度、比島、太平洋沿岸ヘ波及スルノヲ防止スヘシトノ認識カ有力化シツツアル故、現状ニ於テハ、太平洋集團保障條約ノ主張カ示ス通り、英米兩國ハ一定ノ代償サヘ有レハ、支那ハ少クトモ北支ニ於ケル日本ノ優先權ヲ認メ

ル用意アルコトハ見易キ道理テアラウ。南京政府ハ獨力ニ依ル他  
ナシト覺悟シツツアルモ、英國經濟特使「リースロス」ノ渡支以  
來英支經濟關係ハ強化サレ、米國ノ對支借款ハ支那ノ軍事建設ニ  
役立つテ居ルカヲ、日支兩國ニ交戦權ヲ認メル中立的立場ヨリモ、  
寧ロ一種新型ノ不干涉方法カ問題トナリ得ル。更ニ見透シ難キハ  
支那ノ蘇聯邦ニ對スル關係テアル。蔣介石ハ反共的態度ヲ幾度カ  
明示シタカ、國民政府内政治家ノ一部及馮玉祥ヲ始メ將軍連ノ中  
ニ元來親蘇家アルコトハ疑ヒナイ。

支那ハ今日テモ蘇聯カラ金融的、道德的、軍事的援助ヲ享受シテ  
居ルカ、連日且夕ニ迫レハ漢ヲモ擱ム道理テ、支那ハ蘇聯ト一心  
同體トナリ、幾多ノ地方ヤ軍隊カ完全ニ「モスクワ」ニ移行スル  
可能性スラアル。日本政府ハ蘇聯政府ノ抱ク兩翼包圍主義ヲ指摘  
シテ居ルカ、蘇聯ハ東部「シベリヤ」テハ日本國境軍ニ對シ優勢  
ヲ獲得シ、更ニ北支長城以テ支那軍ノ背後ニ待機中故、突然  
日本軍ノ背後ヲ襲フ危險カアル。日支紛争カ亞細亞ノ戦争トナル  
ヤ否ヤハ、英米兩國ノ決心ニ依ラス、一ニ蘇聯ノ出方如何ニ懸ツ



テ居ル。

△「ライン・フロント」(八月十八日)「中部獨逸「ナチス」黨機關」(「ヴオルフ・シエンク」)「北支ヲ繞ル決戦」

(北支ノ對蘇作戰上ノ地位、北支自治運動、南京政府ノ北支中立化工作ニ付イテ述ヘタ後「共產黨ノ戰術」ト言フ小見出テ次ノ如ク結論シタ)北支ノ自治ハ冀察、冀東兩政權ノ出現テ順調ニ運ブカニ見エタ(處。諸學校、大學ハ抗日ノ搖籃ト化シ抗日團體ハ各所ニ簇出シタ。併シ間モナク共產黨カ抗日運動ノ背後ニ在ツテ、階級闘争ノ看板ヲ抗日ニ塗換ヘ糸ヲ引ク事情カ判明シタ。夫レニモ拘ラス、南京政府ハ國家的主要分子カ、親蘇的傾向ヘ趨ルヲ防止スル爲抗日ヲ強化シ、更ニ北支肅清及奪還ヘ猛進シタ。斯クシテ日支衝突ノ時ハ來タカ、北支ヲ繞ル事態ハ未タ漸ク出發ノ段階ニ在ルコトヲ忘レテハナラヌ。

△「アグリッフ」(八月二十日)「「ナチス」「労働戦線」機關」(「事件ノ連鎖即戰爭」)

五年前、英國ノ提案ハ日本ニ採用サレタ。而モ今日テハ日本ノミ

△「ロカール・アンツヤイガー」(八月二十日)  
支那側ノ平津事行局地化ノ失敗ハ果然、日支兩國ノ全面戦トナツ  
タ。近衛首相ハ日清文三國提携ト共ニ、對支全面戦ノ不可避ヲ力  
説シタ。提携ト軍事行動トハ一見矛盾スルトモ見エルカ。實ハ日  
本ハ支那カラ非亞細亞的要素ヲ排撃シ去リ、極東ノ安定勢力ヲ

ナラス、支那迄之ヲ拒絶セル事實ニハ世界的意義カアル。今ノ歐  
洲ノ弱點カ亞細亞ノ弱點トナルヲ未然ニ防止スル事業、即チ共產  
主義ノ「ベスト」ニ對抗、自然ノ健康ナカラ保持スル任務コソ日  
本ノ「イデオロギー」ノ目的テアル。此ノ鐵ノ意思ノ前ニ歐  
洲ノ紙張カ何ニナラウ。亞細亞ハ亞細亞人之ヲ處理スルノ原則ハ、  
歐洲カ也ニ亞細亞ニ裁判權ヲ喪失シタ結果テ、精々同情ヲ表明ス  
ル位カ處ノ山タ。極東ノ紛争ハ恐ラク期間其ノ他ニ於テ「スベイ  
ン」内閣ト同様ノ形相ヲ呈スルテアラウ。  
八月二十四日近衛首相ノ談話ハ、獨逸各紙上ニ大々的ニ掲載サレ各  
紙共同首相ノ主張ハ日支紛争ノ現状ニ於テハ當然トスルノ態度ヲ示  
シタ。

△「ロカール・アンツヤイガー」(八月二十日)  
支那側ノ平津事行局地化ノ失敗ハ果然、日支兩國ノ全面戦トナツ  
タ。近衛首相ハ日清文三國提携ト共ニ、對支全面戦ノ不可避ヲ力  
説シタ。提携ト軍事行動トハ一見矛盾スルトモ見エルカ。實ハ日  
本ハ支那カラ非亞細亞的要素ヲ排撃シ去リ、極東ノ安定勢力ヲ

ントヌル目的ノ下ニ、反抗勢力特ニ「ボルシエヴィキー」的影響ニ對シテハ斷乎軍事的行動ヲモ辭セヌトノ方針ヲ堅持シテ居ルモノテアル。

#### (4) 和蘭紙

八月十四日、支那飛行機カ上海租界ヲ空撃シ、内外人ハ多數ノ死傷者ヲ出シタトノ情報ハ海牙ニモ異常ノ衝動ヲ與ヘ、各新聞ハ一齊ニ右ニ關スル情報ヲ傳フルト共ニ、其ノ不法暴虐ヲ論難シタ。  
△「フアーデルラント」(八月十七日)

南京當局ハ種々陳辯シタカ、其真相ハ恐ラク戦闘地域ヲ擴大シ、日本ヲシテ奔命ニ疲レシムル傍、關係諸外國ヲ禍中ニ引入レントノ魂膽ニ出ルモノト推測サレル。斯ル弄策ハ各國ヲシテ益々戒心セシメ却テ反對ノ結果ヲ招クテアラウ。

米國中立法變動問題（承前）

(1) 「ピットマン」委員長陳述

米國新聞報ニ依レハ、八月十四日「ピットマン」上院外交委員長ハ左ノ如ク述ヘタトイフ。

我那ノ新事慮ハ明カニ戰爭ト認メラレル。然シ未タ當事國ノ何レヨリモ實際ニ宣戰ノ布告ヲ爲ササル以上、戰爭狀態ノ有無ニ關スル裁量ハ大統領ノ權限ニ屬スルモノテ、大統領ハ月曜又ハ火曜迄ニ何等カ本件ニ關スル聲明ヲ爲スモノト期待シツツアル。

尙「ナイ」上院議員（共和黨）ハ、極東ノ事慮ハ中立法ノ延遷ヲ許サス、米國人ノ足ノ先ヲ踏ンタ如キ些細ナル事件ト雖、米國ヲ紛争ニ捲込ム可能性アル故、政府ハ速ニ居留民及司備兵並ニ艦隊ノ撤退ヲ行フヘント主張シ、又「ボラー」上院議員（共和黨）ハ、此ノ際米國ノ取ルヘキ政策ハ、紛争ノ圈外ニ立ツ以外ニナイ、今ヤ世界ハ戰爭ト軍備ト税金ニ依ツテ自殺ヲ行ヒツツアリ、吾人ハ戰爭ニ捲込マレサルコトニ依リ、我等ノ文明ヲ最モ永ク維持シ得ルテアラウ、

24



テ、

一、上海ヲ軍事行動ノ基地トナラサル様、折角日支兩國政府ニ申入  
レツツアルコト

二、日支紛争ノ爲被害カ米人ニ及ヒツツアルハ悲ムヘキコトナルコ  
ト

三、米國政府ハ假令其ノ爲米人ノ生命カ失ハルルコトアリトスルモ  
紛争ニ捲込マルル意思ナキコト

四、米國政府ハ海軍ヲシテ、支那ニ於ケル危險地帯ヨリ米國居留民  
ノ總引揚方ニ付萬金ノ準備ヲ爲サシメツツアリ、即チ命令一  
支那ニ在ル艦船ヲ以テ三千ノ米國民ノ引揚ヲ全クシ得ヘキコト  
五、引揚ノ決定ハ現地關係ノ減量ニ一仕シアルコト  
等ヲ逃ヘタ。

(四) 「ハル」聲明反響(續)

イ、日、獨、支等回答發表サル

八月十五日國務省ハ、七月十六日ノ「ハル」長官聲明ニ對スル日本

及獨逸、支那等二十一箇國ノ回答ヲ第二回分トシテ公表シタ。支那  
回答ノ要旨ハ、支那政府ハ常ニ國際紛争ヲ國際法上及條約上ノ平和  
的處理方法ニ依リ解決スルニ努メツツアルヲ以テ、同國ノ政策ハ「ハ  
ル」長官ノ聲明ト全ク一致スルモノテアル、日本トノ今次紛争ニ關  
シテハ、同國政府ノ態度ハ七月十六日米國政府ニ提出セル覽書中ニ  
明カニシテ置イタ所ト何等變更ナシ、ト言フニ在ル。

ロ、和蘭ノ見解

七月十六日「ハル」國務長官ノ聲明ニ對シ、和蘭「コライン」兼攝  
外相ハ八月八日海牙新聞紙上ニ其ノ意見ヲ公表シタ。要旨左ノ通。  
一、同聲明ニ對シ人類將來ノ福祉増進ヲ顧念スル人々ニ對シ極メテ  
適切ナル言辭ヲ引用シタルニ感激スルト共ニ多大ノ關心ヲ拂ヘ  
リ。

二、同聲明中ノ如何ナル點ト雖、和蘭ノ傳統的政策ノ要綱トナリ居  
ラサルモノナシ。





(5) 米紙ノ論評

△紐有「ジャーナル。オヴ。コマース」(八月二十日)、「高價ナル中立法ノ適用」

「ダニエル。ローバー」商務長官ハ、中立法ノ適用カ米國ノ對極東貿易ニ大損失ヲ與ヘル旨聲明シタカ、其ノ趣旨ハ、米國政府現在ノ態度ハ嚴重ニ中立的態度ヲ諷リツツ、右貿易上ノ損失ヲ避ケ、米國ノ顧客ニ敵愾心ヲ起サセヌ様、中立法ノ適用ヲ抑ヘテ居ルト言フニアル。中立法制定當時ハ、斯ル小損失ハ安全ナル孤立ノ爲ニハ犠牲ニ供スルモ可ト思ハレタカ、現實ニ直面シテ見ルト專ラ大統領ノ裁量權ニ縮ツテ其ノ適用ヲ避ケヨウトスル有様タ。現在ノ状態テハ、之ハ裁量權ノ行使テハナクテ、法律ノ趣旨自身ヲ無視スルモノト言ヘヨウ。中立法ヲ西班牙ニノミ適用シテ極東ニ適用シナイノハ自家撞着テハナイカ。

（Faint, mostly illegible text, possibly bleed-through or a separate column of text.)

支那

(1) 歐洲ニ於ケル孔祥熙ノ動靜

「孔祥熙ハ八月十九日壽府ヲ出發、獨逸汽船 Scharnhorst ニ搭乘歸國豫定テアツタカ、出帆間際ニ急變シ新年後ニ歸國ノコトトナツタル由テアルカ、孔ノ秘書ノ談話トシテ傳ヘラルル所ニ依レハ、右ハ決シテ政治的理由ニ依ルモノテハナク、孔ハ再ヒ獨逸ニ赴キテ所勞療養ノ爲テアルト、  
尙孔ハ其ノ會談ニ於テ、今次ノ歐米旅行中華府、倫敦、巴里及「プラーグ」ニ於テハ夫々契約締結ニ成功、伯林訪問ニ付テハ満足ナリト語ツタ。」

(2) 其ノ後ニ於ケル香港地方ノ「コレラ」病狀態

八月十六日正午現在ニ於ケル香港地方ノ「コレラ」既發患者總數ハ二百六十三名テアル、内死亡百十五名、既發生區域内譯ハ香港市内

八月十六日五子... 英人ノ上海觀... 香港ニ到着スルモノニ對シテ... 注射所設置、食物販賣取締並ニ防疫宣傳等ニ活動シテ居ルカ、目下注射液ニ不足シ香港ニ於ケル製造ヲ急クト共ニ、近ク佛領印度支那及馬尼刺方面ヨリ七十五万人分ヲ空輸セシムル筈テアル、尙香港ハ多數支那人密集セル土地柄テアルカラ防疫ノ徹底困難ニシテ今後尙蔓延スル徴候カアル。

支那

二百三十三名同郊外四名九龍市内二十六名全部支那人テ、傳染系統ハ廣東方面ヨリ輸入シタモノテアル、衛生局ニ於テ船舶檢疫、廣九鐵路ニテ香港ニ到着スルモノニ對シテ親診、市内十數箇所ニ無料豫防注射所設置、食物販賣取締並ニ防疫宣傳等ニ活動シテ居ルカ、目下注射液ニ不足シ香港ニ於ケル製造ヲ急クト共ニ、近ク佛領印度支那及馬尼刺方面ヨリ七十五万人分ヲ空輸セシムル筈テアル、尙香港ハ多數支那人密集セル土地柄テアルカラ防疫ノ徹底困難ニシテ今後尙蔓延スル徴候カアル。

(3) 英人ノ上海觀 (ポスト紙 (香港))

「上海ヨリ避難ノ諸外國人ハ便船毎ニ香港ニ殺到シテ居ルカ、八月二十一日着「エム。エシヤ」號搭乗ノ一英國婦人ノ語ルトコロニヨレハ「日本側カ上海全市ノ支配權ヲ握ルコトニ依リテノミ上海ノ治安ヲ維持シ得ル」ト、他ノ同船者モ又之ニ共鳴シテ、「我等ハ日本ヲ東洋ノ警察官ト看做スニ至ツタ、支那ニ對シテハ強ク同情スルカ、我々ノ利益カ第一ニシテ支那最良ノ同情スラモ租界爆撃ニ依ツテ大部分雲散霧消シタ」云々ト語レル旨英字紙「ポスト」ハ報道シタ。」

情報委員會八・二九 情報第一號

一 南京放送一 (八月二十八日)

(熊本遞信局聽取)

一、上海二十八日午後一時電

(イ) 吳淞港ノ敵艦ハ今朝砲ヲ開キ我ニ向ツテ攻撃シ、我方ハ重砲ヲ用ヒテ攻撃シタ、双方ノ砲戰猛烈デア、又チヨウシ方面ノ敵ハ昨夜カラ今朝ニ至リ我ニ向ツテ攻撃シ、我ハ相向ツテ痛撃ヲ加ヘ敵ハ未ダ勝ヲ得ヌ

(ロ) 二十八日朝十一時敵ノ飛行機十二臺ハ四隊ニ分レ吳淞方面カラ我ガ後方陣地ヲ襲ヒ我ハ高射砲ヲ以テ射撃シ二臺ニ命中、一臺ヲ射落シ、別ノ一臺ハ燒落チタ

(ハ) 大同、臺北、太平洋ノ三會社ハ二十八日午後四時日本ガ吳淞港ニ於テ壞シタ爲電報ハ不通トナツタ

(ニ) 南市トウカ碼頭ニ敵ノ軍艦數隻ヲ發見シ且若干ハ上陸ヲ企圖セントスル様アリ我ハ嚴重警戒シテキル

(ホ) モクテウチン、チンカバン、龍華附近一帶ニ於テ重砲、飛行機掩護ノ下ニ敵ハ我軍ニ向ケ猛攻シ我軍奮勇幾度カ進ミ、幾度カ退キ敵ハ多大ノ損害ヲ受ケ我軍ハ赤誠一致二十八日正午ニ至リ双方ハ羅店西北ノシヨウカ岸ニ對峙シテキル

(ノ) 今回チンカバン、羅店附近一帶ニ於ケル激戰ハ上海戰勃發以來未曾有ノ激烈デアリ前方歸